

# JIS

## デジタルインジケータゲージ

JIS B 7563 : 2021

(JMA/JSA)

令和 3 年 1 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	長野計器株式会社
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	久 田 真	東北大学
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 3.1.20

官 報 掲 載 日：令和 3.1.20

原 案 作 成 者：日本精密測定機器工業会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 3-14-2 榎木ビル TEL 03-3434-9557)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 設計仕様（設計特性）	4
4.1 一般	4
4.2 名称	4
4.3 デジタルインジケータゲージの保持	4
4.4 寸法	5
4.5 デジタル表示	6
4.6 エラー表示	6
4.7 出力仕様	6
4.8 使用環境に対する保護	6
4.9 測定子	6
4.10 ゼロ点調整	6
4.11 追加機能	6
4.12 プリスパン及びポストスパン	7
4.13 製造業者（又は供給業者）による設計仕様	7
5 性能（計測特性）	7
5.1 最大許容誤差（MPE）及び許容限界（MPL）	7
5.2 測定力	8
6 製品文書における表示	8
7 仕様への適合の検証	8
7.1 一般	8
7.2 測定方法及び評価方法	8
7.3 データ処理における移動ゼロ点性能評価方法	8
7.4 標準温度	9
8 表示	9
附属書 JA（規定）性能（計測特性）の測定方法及び評価方法	10
附属書 JB（参考）指示誤差曲線の例	11
附属書 JC（参考）移動ゼロ点性能評価方法（データ処理による性能評価方法）	12
附属書 JD（参考）設計及び性能の仕様表示例	14
附属書 JE（参考）製品文書における表示	15
附属書 JF（参考）JIS と対応国際規格との対比表	16
解 説	20

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本精密測定機器工業会（JMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

## デジタルインジケータゲージ

## Electronic digital-indicator gauge

## 序文

この規格は、2012年に第1版として発行されたISO 13102を基とし、製造及び使用の実状に見合う合理性を備えた規格とするため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JFに示す。

## 1 適用範囲

この規格は、最小表示量が0.01 mm、0.001 mm及び0.000 5 mmのデジタルインジケータゲージの設計仕様（設計特性）及び性能（計測特性）について規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 13102:2012, Geometrical product specifications (GPS) – Dimensional measuring equipment: Electronic digital-indicator gauge – Design and metrological characteristics (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0641-1** 製品の幾何特性仕様（GPS）－製品及び測定装置の測定による検査－第1部：仕様に対する合否判定基準

**注記** 対応国際規格：ISO 14253-1, Geometrical product specifications (GPS) – Inspection by measurement of workpieces and measuring equipment – Part 1: Decision rules for verifying conformity or non-conformity with specifications

**JIS B 0642** 製品の幾何特性仕様（GPS）－測定器の一般的な概念及び要求事項

**注記** 対応国際規格：ISO 14978, Geometrical product specifications (GPS) – General concepts and requirements for GPS measuring equipment

**JIS B 0680** 製品の幾何特性仕様（GPS）－製品の幾何特性仕様及び検証に用いる標準温度

**JIS C 0920** 電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）

**注記** 対応国際規格：IEC 60529, Degrees of protection provided by enclosures (IP Code)

**JIS Z 8103** 計測用語

ISO 14253-2, Geometrical product specifications (GPS) – Inspection by measurement of workpieces and